

むかしの「文字」を調べよう

だい てんじ しつ
第3展示室でさがしてね

ねんまえ ひと ふで もじ
1300年前の人は、筆で文字をかくとき、
かみ 紙のほかに、なに もじ
何に文字をかいていたでしょう？

- ①石ころ いし
- ②ハンカチ てつ いた
- ③木の板 き いた
- ④鉄の板 てつ いた
- ⑤土器 ど き

こた
答え

よく使ったものは ()
ときどき使ったのは ()

ふで もじ
筆で文字をかくには、
すみをいれる「硯（すずり）」がひつようです。
い
1350年くらい前の「硯（すずり）」はどれでしょう？
ねん まえ

だい てんじ しつ
第3展示室でさがしてね



こた
答え ()

もじ か き いた
文字を書いた木の板を「木簡（もっかん）」といいます。

もっかん もじ か
木簡に文字を書いていたら、まちがえてしまいました。

ひと か なお
むかしの人は、どうやって書き直したでしょう？

- ① ゆびでこする
- ② 水であらう
- ③ 消しゴムで消す
- ④ 小刀でうすくけずる
- ⑤ 新しい板に書く

か なお
書き直したときの木簡（もっかん）が
第3展示室にあります。

みつげられるかな？

こた
答え（ ）



ひだり もっかん
左の木簡には、
ひと え
人の絵やじゅもんが
か
書かれています。
みず かみさま
どうやら、水の神様への
おねがいごとのようです。
なに つか
何に使ったのでしょうか？

- ① ゲームにつかうカード
- ② ただのらくがき
- ③ おまじないのお札
- ④ のろいのお札

こた
答え（ ）

☆木簡（もっかん）についてもっと知りたい人は、
(ビデオ) ライブラリーにも行ってみよう！
「時代」→「奈良時代以降」→「木簡に見る食べ物」
の順番に画面にタッチ